

**特別展 「見世物大博覧会」**  
本展では、江戸から明治時代にかけて大いに流行し、大正時代を経て現代に至るまで命脈を保ってきた見世物の世界を、絵看板、錦絵、一式飾りや生人形など、さまざまな資料をおして紹介します。  
会期 9月8日(木)～11月29日(火)  
会場 特別展示館



絵看板(軽業・足芸一座)

**■関連イベント**  
**みんなく×MBSラジオ presents トークイベント**  
タレントの浜村淳さんをお招きし、笹原亮二(本館教授)と特別展「見世物大博覧会」の魅力に迫ります。  
日程 9月10日(土)  
会場 本館講堂(定員450名)

**みんなくセミナー**  
時間 13時30分～15時(13時開場)  
会場 本館講堂 定員 450名(当日先着順)  
参加費 無料(展示をご覧になる方は展示観覧券が必要です)  
第459回 8月20日(土)  
**飛ばねえカワウは、ただのカワウだ 鵜飼研究の魅力を語る**  
講師 卯田宗平(本館准教授)  
鵜飼のカワウはなぜ飛んで逃げないのか。どのような魚が獲れるのか。鵜飼にかかわるさまざまな疑問を切り口に、中国と日本の自然環境や食文化の違い、そして鵜飼研究の魅力について説明します。

**みんなくウィークエンド・サロン**  
研究者と話をしよう  
本館の研究者が「現在取り組んでいる研究」調査している地域(国)の最新情報「みんなく展示資料」について分かりやすくお話しします。4月からテーマによって実施時間が30～60分になりました。  
8月7日(日) 14時30分～15時15分  
本館ナビひろば  
「無視覚流」の極意を求めて  
——ユニバーサル・ミュージアムの新展開——  
話者 広瀬浩二郎(本館准教授)  
8月14日(日) 14時30分～15時  
本館ナビひろば  
デジタル時代の原住民イメージ  
話者 野林厚志(本館教授)  
8月21日(日) 14時30分～15時15分  
本館ナビひろば  
訪ねてみよう、手話の世界！  
話者 飯泉菜穂子(本館特任准教授)  
※手話通訳つき  
8月28日(日) 14時30分～15時15分  
本館ナビひろば  
イタリヤ人と食  
話者 宇田川妙子(本館准教授)  
※申込不要、参加無料(要展示観覧券)

**企画展**  
順益台湾原住民博物館所蔵「学生創作ポスター展」  
「台湾原住民をめぐるイメージ」  
学生たちがとらえた原住民のイメージが表現されたポスターを展示することに、イメージとむすびつく原住民の物質文化を紹介します。  
会期 8月4日(木)～10月4日(火)  
会場 企画展示場



李翊慈「祝祭の石板——豊年祭」

**中央・北アジアを駆けぬぐる**  
夏のみんぱくフォーラム2016  
◆展示場クイズ「みんなQ」  
中央・北アジア編  
8月23日(火)まで

**みんなく映画会**  
第34回ワールドシネマ  
「禁じられた歌声」  
日時 9月22日(木・祝)  
13時30分～16時(開場13時)  
会場 本館講堂(定員450名)  
※申込不要、参加無料(要展示観覧券)  
※入場整理券を当日11時から本館2階観覧券売場にて配布  
みんなく秋の遠足・校外学習事前見学&ガイドダンス  
秋の遠足・校外学習にむけて事前見学に来館される学校団体の先生方を対象としたガイドダンスを開催します。  
日時 8月23日(火)、25日(木)  
14時～16時30分

会場 本館第5セミナー室ほか  
お問い合わせ先  
ホームページから参加申込書をダウンロードし、必要事項を記入の上、FAXにてお送りください。  
本館案内所  
電話 06・6878・8341

**インフォレストすいたでみんなくフェア開催**  
エキスポシティのインフォレストすいたで、9月1日(木)～10月31日(月)まで、みんなくフェアを開催いたします。特別展「見世物大博覧会」にまつわるミニ展示や楽器の体験、参加型のプレゼント企画などを予定しています。  
みんなくミュージアムパートナーズ「点字体験ワークショップ」  
目で読む文字から手で読む文字へ、点字で異文化コミュニケーション！点字体験ワークショップを開催します。  
日時 8月13日(土) 12時～15時30分  
会場 本館エントランスホール  
※申込不要、参加無料

**●夏休み観覧無料キャンペーン**  
夏の観覧無料キャンペーンを8月1日(月)から8月30日(火)まで実施します。対象は高校生以下と65歳以上の方です。

**みんなくブックフェア**  
展覧会の図録や「ワールドワーク選書」全20巻、オリジナルグッズを取りそろえます。三省堂書店神保町本店(会場4階)  
8月31日(水)まで  
◆会期中にトークイベントを開催(会場8階)「僕のワールドワーク」論 微笑みの国の工場から  
話者 平井京之介(本館教授)  
日時 8月7日(日) 14時～(1時間程度)要予約  
お申込み・お問い合わせ先  
三省堂書店神保町本店  
03・3233・3312  
※各イベントについてくわしくはみんなくホームページをご覧ください。  
※電話でのお問い合わせの受付時間は、9時～17時(土日祝を除く)です。

**ビデオトーク新番組 (2016年公開予定)**

番組番号	種別	タイトル	時間
1740		フィリピン北部バラランサン村の音楽とくらし(英語版(3740)・イロカノ語版(8034)あり)	26分
1741		周城村の本主節：雲南省ペー族の祭り	19分
1742		雲南省ペー族の上棟式の今	20分
1743		安龍謝土：雲南省ペー族の家屋完成後の儀礼	22分
8035	短編番組	Lifestyle and Views of a Landlord in a West Indian Village [Hindi version]	15分
8036		Mother Goddess Festival in a Rajasthan Village, India [Hindi version]	26分
8037		Sagas Bavji : Warrior Spirits of Rajasthan, India [Hindi version]	32分
8038		A Marriage in Udaipur [Hindi version]	33分
8039		Holi Festival in Udaipur [Hindi version]	20分
7237	研究用映像	Transformation of the Mother Goddess Festival in the Mewar Region, Rajasthan, India [Hindi version]	74分
7238		A Hindu Marriage in Rajasthan [Hindi version]	106分
6047	マルチメディア番組	雲南省ペー族の暮らしと文化	—
6054		手話の世界へようこそ!!	—

**研究部新メンバー**  
あいしよまき 相島葉月 准教授(先端人類科学研究部)  
英マンチェスター大学人文学部・講師(現代イスラーム)を経て現職。専門は中東・イスラーム人類学。エジプトの空手家コミュニティを事例とした都市中流層の社会階層観やモタニティに関する研究課題を遂行中。

**相島葉月 著**  
*Public Culture and Islam in Modern Egypt: Media, Intellectuals and Society* (Library of Modern Middle East Studies) 邦題: 公共文化とイスラーム——メディア・知識人・社会  
IB Tauris社 £64.00 (Kindle版あり)  
今日のエジプトにおいて知識人であるというのはどういう意味を持つのか? 本書は現代中東を代表するイスラーム思想家であるアブドゥルハリーム・マフムードの生涯、著作および公共的イメージを主題として、都市中流層ムスリムの抱く教養への憧れや公的知識人像について探求した民族誌である。

**刊行物紹介**  
■岸上伸啓 編  
『贈与論再考——人間はなぜ他者と与えるのか』 臨川書店 4,500円(税抜)  
人類社会には様々なモノや食べ物のやりとりが存在する。そのような社会現象に関する最初の文化人類学的研究は、モースの贈与論である。本書では、霊長類や世界各地の事例を用いてモースの見解を検証しつつ、「贈与」「交換」「分配」という行為について再考する。

**贈与論再考**  
岸上伸啓 著

国立民族学博物館友の会 電話 06-6877-8893 (9時～17時、土日祝を除く) FAX 06-6878-3716  
<http://www.senri-f.or.jp/> E-mail [minpakutomo@senri-f.or.jp](mailto:minpakutomo@senri-f.or.jp)

**友の会**  
**友の会講演会(大阪)**  
会場 本館第5セミナー室(定員96名)  
※当日先着順、会員無料(会員証提示)、一般500円  
第458回 9月3日(土) 13時30分～15時30分  
**ネパール、「市民社会」の再編を展望する**  
講師 南真木人(本館准教授)  
2015年、大規模な震災に見舞われたネパール。地震発生直後には、カーストや民族、宗教、社会階層など、多様な価値観をもつ人びとの間に共同の精神が生まれ、分断されていた「市民社会」が立ち現われました。こうした契機は今回に限ったことではありません。1951年の「開国」以降、節目のたびに、社会再編の機運が人びとのなかで高まりを見せてきたのです。本講演会では、社会の再編に至る、今までこれからの展望をします。  
第459回 10月1日(土) 13時30分～15時30分  
**見世物の昭和・平成**  
——人間ポンプ・安田里美のライフストーリーから——  
講師 鵜飼正樹(京都文教大学教授)

**第73回体験セミナー**  
目と舌で知るネパール  
——映像鑑賞と国民食「ダール・バート」を手で食べる——  
9月30日(金) (開催地・東京/要事前申込)  
■友の会入会キャンペーン「8月1日(月)～30日(火)」期間中、新規ご入会いただいた方には、記念品をプレゼントします。  
【東京】連続講座  
「素顔の地球に出会う」  
——人類学者たちのワールドワーク——  
会場 モンベル渋谷店5Fサロンの  
時間 各回ともに13時30分～15時30分  
参加費 一般各回1000円、会員無料  
要事前申込、先着順  
9月10日(土)  
人間にとってスイカとは何か——カラハリ狩猟民と考える——  
講師 池谷和信(本館教授)  
11月12日(土)  
シベリアで生命の暖かさを感じる  
講師 佐々木史郎(国立アイヌ民族博物館設立準備室(主幹))